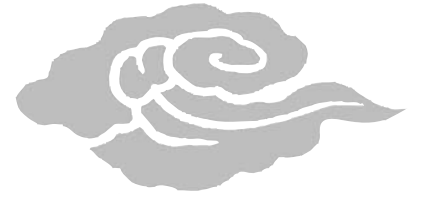
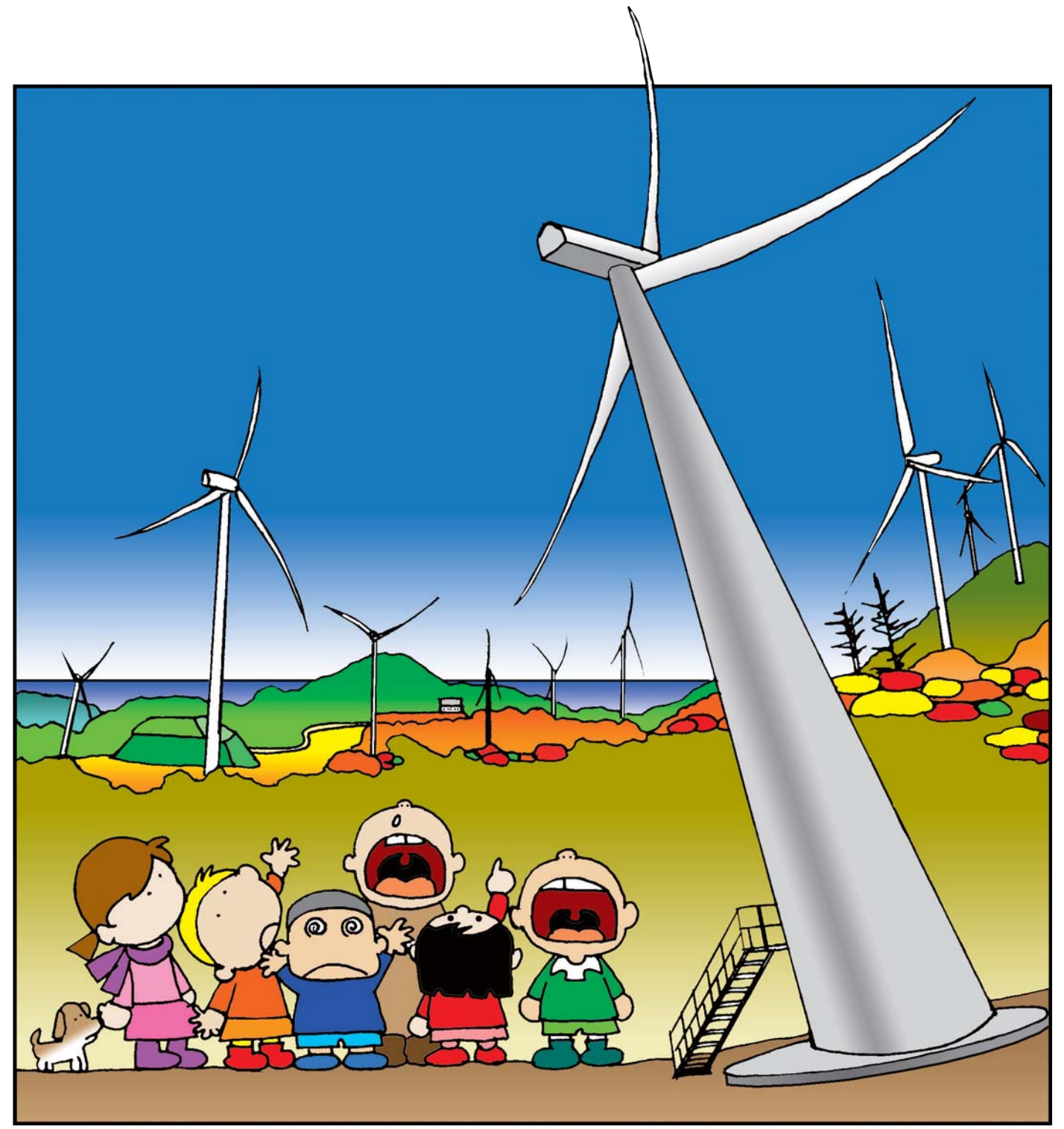


建設会報 いずも



No.119 2009年1月号



編集・発行人 (社)島根県建設業協会出雲支部
経営改善研究委員会



2009年 己丑(つちのとうし) 「自らで、今、始めよう!」

(社)島根県建設業協会出雲支部
支部長 中筋豊通

新年明けましておめでとうございます、本年も宜しくお願いいたします。

昨年末、県土木部は「09・10年度県建設工事等入札参加資格審査」の概要をまとめ、土木一式と建築一式で適用する特別点数の配分を公表しました。

内容変更や配分の見直しは

- ・継続学習への取組状況(建築一式が追加:CPD取得)、・子育て支援、・新分野への進出、
- ・除雪業務(土木一式のみ)、・防災対策(国、県、市町村と防災協定を締結している団体に加盟)、・ボランティア活動

新設項目は

- ・労働安全対策(建設業労働災害防止協会に加入。建災防が実施する「安全衛生教育研修」を受講)、・建設業労働者の福利向上、・雇用の確保

私たち地域で働く建設業協会の要望を、かなり取り入れた結果ですが、**企業としての「質」、更に「社会貢献度」が問われています。**

さて、今年【己丑(つちのとうし)】

【己】(キ・つちのと) 草木の枝葉の先まで整って、成長が完成した状態を意味しています。

土の弟。田畑や庭の土をさします。

【丑】(チュウ・うし・牛) ①うし。十二支の第二位。①方位では北東。②うしの年。③うしの月。十二月。④うしの日。⑤うしの時。今の午前二時頃。⑥五行では土。⑦獣では牛。⑧はじめ。はじまる。起きて始めて手をあげる。⑨むすぶ。つかねる。紐に通ず。⑩やしなう⑪とぎす。⑫手かせ。⑬道化役者・・・。

【解字】 指事。又と丨との合字。又は右手。丨を以って手の三指をれんてい聯綴して、寒気の為に、未だ事を為し得ぬ意を示し、寒気が解けるのを待ち、將に手を挙げて仕事をし始めようとする義を表す。

【牛】(ギウ・ゴ・うし) ①偶蹄目ウシ科の哺乳類。②牛肉。③竹や木を家の棟木のように組んで立て、物を寄せかけられるようにしたもの。④牛梁の略。

己・丑・牛が、私たちに・・・。

政治・経済・社会、全てに於いて正しく『狂・乱』、日本の、地域の未来を誰も語ろうとはしません。明日のために今やる事がある筈です。このままでは、島根は、中小企業は、もちろん地域の建設業は消えるしかありません。「もつれた糸を解きなさい」、「狂ってしまった世界を、正常な世界へと導くために立ち上がるのです」、「**他人は決して助けてはくれない、自分でやるのです、始めるのです**」と教えています。

出雲支部の会員の皆様、栄華は過去のもの、欲張りは禁物。もちろん独りよがりも駄目。皆で考えましょう、①島根に来る人々が、何を求めているのか、魅力は何か、そのために何処を整備していくのか(外のためにも)、②地域に住む人が安全で安心して暮らせる都市創りのために何をすべきか(内のためにも)、与えられたことを、やるのではなく、**素晴らしい故郷のために、提言・提案できるよう頑張っていきましょう。**

やるしかない! ありがとうございます。



お礼

昨年末に、知事表彰並びに林野庁長官感謝状をお受けいたしました。その際には協会からお祝いをいただき、ありがとうございました。

これからも微力ではございますが、建設業界発展のために努力を重ねる所存でございます。本当にありがとうございました。



平成20年度 島根県各種功労者表彰受賞

功 労	氏 名	年 齢	主 要 経 歴
土 木	中筋豊通	60	現 社団法人 島根県建設業協会副会長
功 績 の 概 要			
多年建設業の健全な発展に努め社会基盤の整備に寄与した			

林野庁長官感謝状受賞者

所 属 協 会	氏 名
島根県農林建設業協会連合会	中筋豊通



新年のご挨拶

出雲労働基準監督署
署長 澤田真也

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては決意も新たにすがすがしい新年をお迎えのことと存じます。また、労働基準行政、とりわけ労働災害防止対策の推進に当たって、格別のご理解とご協力を賜りましたことにお礼申し上げますとともに、本年も貴協会や労働災害防止団体との連携を密にし、建設業における同対策を進めてまいりたいと考えています。

さて、当署管内の建設業における休業4日以上労働災害は、平成18年には65件と前年の件数を上回ったものの、平成19年には54件と過去最少を記録し、対前年比16.9%の減少率となり、全産業の減少率13.5%を上回りました。しかし、平成20年においては、10月末日現在で対前年同期比1件増加の44件となっています。死亡災害は、幸いなことに平成19年も昨年（11月末日現在）も発生していませんが、死傷災害全体では減少傾向が頭打ちになっている状況が認められます。

労働災害は本来あってはならないものとの認識に立ち、建設業における労働災害件数を大幅に減少させるためには、職場における労働災害発生の芽（リスク）を事前に摘み取るため、設備・原材料等や作業行動に起因する危険性・有害性の調査（リスクアセスメント）を行い、必要な措置を実施することが重要です。

当署では、平成20年度を初年度とし、平成24年度を目標年度とする第11次労働災害防止計画を策定いたしました。

本計画の目標は、労働災害発生件数について、平成24年において平成19年に比し、死亡者数で20%、死傷者数で15パーセント減少させるとともに定期健康診断における有所見率の増加傾向に歯止めをかけ、減少傾向に転じさせることとしています。

そして、目標実現のための最重点対策がリスクアセスメントの実施率を着実に向上させることであり、計画期間中に業種別の実施率を20ポイント高めることとしています。

平成18年8月に実施した自主点検結果では、当署管内の建設業者のリスクアセスメント実施率は39.5パーセントでしたから、これを60%程度に高めることを目標としています。

そのために、個別指導や集団指導の機会を通じて、リスクアセスメント実施の指導を行いますし、各社で具体的に実施する際の参考となるよう「リスクアセスメント担当者養成研修」を継続的に実施してまいります。

未実施の会員事業場におかれては、是非実施していただくとともに既実施の事業場にはリスクの変化があった場合必要な見直しをしていただくようお願いいたします。

建設業を取り巻く工事受注環境は、景気の後退に伴って極めて厳しいものがあると思いますが、引き続き労働災害のない安心・安全な職場づくりを目指して取組を強化していただくようお願いいたします。

最後になりましたが、社団法人島根県建設業協会出雲支部の益々のご発展と会員事業場の益々の飛躍をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

出雲県土整備事務所
所長 森山裕夫

新年明けましておめでとうございます。(社)島根県建設業協会出雲支部の皆様方には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

昨年は、雨も少なく晩秋にも暖かい日が続くと云う気象条件の下、皆様方の各種社会資本整備への深いご理解とご協力、そして高い技術力に支えられ、着実に事業を進展させることができました。特に、平成18年7月豪雨災害の復旧対策は、災害復旧事業及び河川災害関連事業が全て完成し、最も被害の大きかった所原地区における神戸川広域基幹河川改修も計画区間の約6割を概成することができました。また、小田農道、簸川南広域農道、稗原ダムパイプラインの整備も、長い事業期間を要しましたが無事に全線開通・竣工を迎えることができました。

しかし、原油や鋼材価格の高騰に翻弄されるなど厳しさを増す社会経済情勢の下、県民の皆様からは各種行政施策の着実な推進と成果の早期発現が強く求められています。建設業界も一段と厳しさを増す状況の中、皆様方には各種社会資本整備、維持管理、除雪、ハートフルロード活動など、安全で安心できる県土づくりに力強いご支援とご尽力をいただきました。改めまして、感謝とお礼を申し上げます。

さて、平成21年度予算につきましては、引き続き財政健全化に向け取り組むこととなりますが、県民の安全・安心の確保や県の将来的な発展に真に必要なものについては重点配分を行うとの基本的な考えが示されています。

本県の経済発展には、道路整備や治水対策などが欠くことのできない基礎的な社会資本整備です。しかし、全国的に見てもその改良率や整備率は大変遅れ、山陰道の斐川～出雲間が平成21年度中の供用開始を目途に鋭意事業進捗が図られておりますが、高速道路の供用状況も全国に比べて大きく遅れています。

引き続き、公共事業の透明性、事業の再評価、地域の実情に応じた整備手法、コスト縮減などに努めるとともに、競争性や品質確保に向けた入札制度改革に取り組み、良質な社会資本を効率的・効果的に整備してまいりたいと考えております。

また、昨年の道路特定財源問題では、皆様方をはじめ、県民、県議会、市町村等関係団体などの一丸となった力強い取り組みをいただき、予算配分の遅れはありましたが本県の道路整備への支障は回避することができました。しかしながら、道路特定財源の一般財源化の方針が閣議決定されておりますので、引き続き着実な道路整備を進めるための財源確保に向け、地方における道路整備の必要性を皆様方とともに訴えていきたいと思っています。

最後になりましたが、新しい年を迎え、(社)島根県建設業協会出雲支部の益々のご発展、会員の皆様方の限りないご繁栄をご祈念申し上げまして、新年の挨拶といたします。